

かたばた通信



落葉舞い散る中、イヌワシを観察(撮影 柴田典弘)

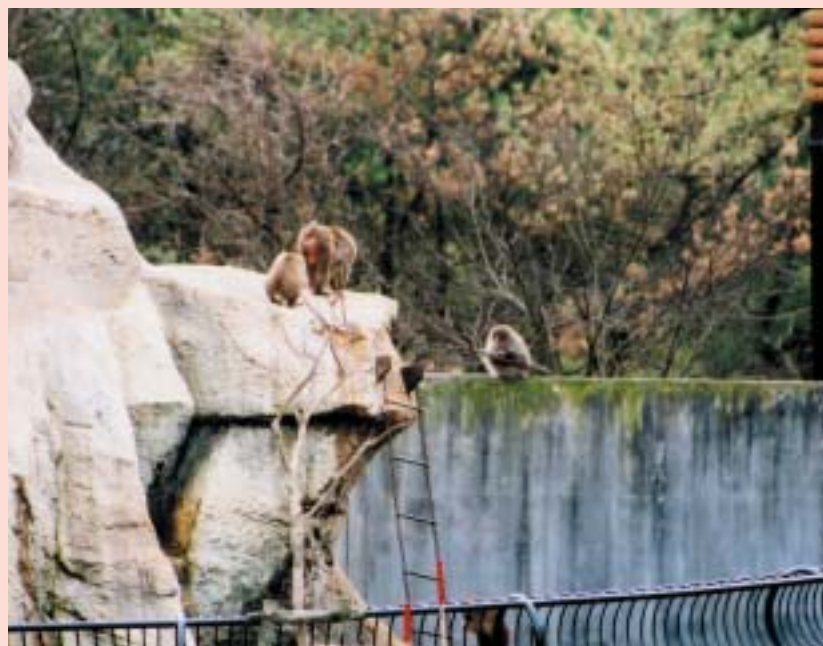
ラプタージャパン (日本猛禽類研究機構) 来園

昨年10月30日、絶滅の危機にある希少猛禽類の保全に資することを目的とする団体のラプタージャパンの一行が来園し、昨春繁殖したニホンイヌワシなどを熱心に視察しました。一行と共に訪れた猛禽類研究者の米国オレゴン州立大学パトリシア・ケネデイ博士と、英国ケンブリッジ大学オリバー・クルーガー博士も、イヌワシやクマタカなど日本産猛禽類を中心に興味深く観察されました。また、展示動物はもとより、木々の紅葉や、雪吊りが施された植栽など、園内の晩秋の風情も満喫された様子でした。

こんにちは

野生ザル出現

昨年12月17日、当園のサル山に野生とみられるオスのニホンザルがやってきました。その数日前から市内に出没していた個体のように、当園の個体とは体色などが明らかに異なっています。このサルは夕刻になって自らサル山に入り、志願して保護された形となりました。しかし、秋田県自然保護課と秋田市林務課を交えた協議の結果、別段ケガなどの様子もないため、野生動物保護の観点から、(彼の意に反し?)できるだけ早く自然に帰す事になりました。翌日、遠い山奥に運ばれて放された野生ザル君、もう人間界に降りて来ちゃダメだよ!



当園のオスザルと向き合う野生ザル(撮影 藤原直樹)